

令和7年度学校教育自己診断分析結果

○全体的な内容

本校では、泉大津高校の『ねがい』＝「どんな社会でも揺るがない土台「心幹」を持ち、他者とコミュニケーションをとりながら、自分の人生を、社会を豊かにできる一人前になるう」に基づき、すべての教育活動を実践している。「学校は、「泉大津高校の『ねがい』」に向かう教育活動を行っている。」の質問項目においては、保護者の肯定的な回答は79%と高評価であったが、生徒は74%に留まっている。生徒の肯定的回答はR3年度より少しずつ向上しており、今後も「泉大津高校の『ねがい』」を広く周知し、継続的に教育活動を行っていくことで、より一層充実した教育活動が展開することができると考えている。

生徒の「学校は探究や学校行事、ボランティアなどを通して、地域と交流している」が、R5年度まで50%台であったが、昨年度72%と飛躍的に伸び、今年度さらに77%と伸びた。泉大津市と連携した総合探究や泉大津警察と連携した様々な取り組み、さらに泉大津市のイベントのボランティアへの参加等、生徒が実感できるかたちで泉大津市との連携が実現できているためだと考えられる。今年度の秋よりDXルームを使った「地域探究」で地域の高齢者の方たちと交流することができ、泉大津市との連携をより強く実感することができた。

「学校のホームページ、SNSをよく見る」という項目の肯定的な回答が、R5年度まで20%台であったのが、昨年度は40%台、今年度は生徒56%、保護者58%であった。昨年9月から公式Instagramを開設して投稿を継続していることやホームページを整理し、校長ブログの更新頻度も上がったこと等が要因と思われる。今後も保護者に学校での様々な活動の様子を見てもらい、外部の方には泉大津高校の雰囲気や生徒の活動の様子を知ってもらうために更新を続けていく。

○各分掌より （ ）内の番号は質問番号を示しています。

【教務部】

生徒(4)「自分が学びたい科目を選択することができる。」

⇒ 生徒のニーズに合った科目の設定ができており、希望に沿った選択ができるようになっている。

生徒(5)「情報機器の利用や実験・実習など、体験的な授業が充実している。」

⇒ 2年前から下降傾向ではあるが、講義形式の授業だけでなく、活動的な授業は多い。

生徒(6)「学校は、1人1台端末を効果的に活用している」

⇒ 普段の授業や総合探究などで活用する機会が増えている。課題の提出やテスト返却当にも活用されている。

生徒(8)「評価の仕方や基準が事前に示されており、評価について納得できる。」

⇒ 評価については、教員から生徒へと丁寧な共有ができています。

生徒(9)「(参加したことがある人のみ) 授業以外の講習は満足できる。」

⇒ 夏期講習においてはニーズに合った指導ができています。

【生徒指導部】

生徒(14)「学校生活についての先生の指導には納得できる。」

⇒ 教員の説明と生徒の受け取り方の齟齬が生じている可能性がある。丁寧な説明を継続したい。

保護者(9)「学校の生徒指導の方針に共感できる。」

⇒ 日々のやりとりに関して、細やかに担任の先生中心に情報共有がなされている。

【生徒会指導部】

生徒(24)「部活動は活発だと思う。」

⇒ 1年生の部活動加入率が上がり、表彰も増えているため。

保護者(16)「本校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」

⇒ 体育祭・文化祭での保護者の来校が増えているため。引き続き、内容の充実に努めたい。

【進路指導部】

生徒(15)「学校は、進路についての情報を知らせてくれる。」

⇒ 様々な進路情報を生徒にタイムリーに伝えるようにしているが、それが結果として表れた。

生徒(16)「将来の進路や生き方について考える機会がある。」

⇒ 各学年での進路行事を通して、生徒が自分の進路について考えるきっかけになっていると考える。

保護者(12)「子どもは、自身の進路について以前よりも話すようになっている。」

⇒ 保護者と生徒がじっくり話す時間や機会を持てるよう学校としてどのようなことができるのかを考えていきたい。

【保健総務部】

生徒(28)「学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。」

⇒ 泉大津消防署の協力もあり、避難訓練等で生徒へ浸透していると考ええる。

保護者(8)「子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。」

⇒ 保健室や先生方が相談しやすい雰囲気づくりに努め、親身に寄り添っている結果と考える。

保護者(18)「PTA 活動に参加することがある。」

⇒ 緩やかに増加している。時代の流れもあり、PTA 役員、PTA 活動に対してご理解いただくことの困難さも感じている。